

生野中学校区 学校適正配置検討会議

校名専門部会（第2回） 会議録

1 日 時 令和2年8月21日（金） 午後7時30分から

2 場 所 生野区役所5階 502会議室

3 出席者

（校名専門部会メンバー）

石川 隆久委員、大西 範幸委員（部会長）、金 賢一委員、古瀬 浩久委員、

（学校）

楠井 誠二（生野中学校長）

（教育委員会事務局）

花月 良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、竹口 一吉

（学事課担当係長）

（生野区役所）

大川 博史（地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、竹中 一

郎（地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、川楠 政

宏（地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長代理）白石 秀

一（地域まちづくり課係員）、西川 明宏（地域まちづくり課係員）

（傍聴）1名

4 議題

・校名案について、児童・生徒の投票結果を参考に意見交換し、校名案を決定する。

5 議事要旨

（1）行政からの説明

【部会長について】

（説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）

・校名専門部会の円滑な進行を目的とし、進行役および検討会議への報告者として部会長を置きたいと考えている。

・これまで、学校設置協議会の専門部会でも委員であった大西委員に部会長をお願いしたい。

⇒異議なかったため、大西委員を部会長とする。

【「校名案について、児童・生徒の投票結果を参考に意見交換し、校名案を決定する。」について】

（説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）

・資料1に沿って説明。

・児童・生徒への投票では「生野未来学園」が校名候補のなかで4割を超える得票率であり、どの学校においても最多得票となった。

・得票数は315、次点の「新生教育学園」と「四ツ葉ぎむ教育学校」は109であった。

・無回答や複数回答による無効、欠席による未投票があったが、それらが「生野未来学園」以外の校名案に投票されていた場合でも、「生野未来学園」の順位に変更はない。

・この投票結果を参考に、前回の校名専門部会で意見のあった「音の響き、見た目、漢字

か平仮名か」などを考慮して意見交換したい。

(2) 意見等の概要

【「校名案について、児童・生徒の投票結果を参考に意見交換し、校名案を決定する。」について】

- ・「生野未来学園」に票が集まった。「義務教育学校」という表記が子どもに受け入れにくかったのかと思う。
- ・前回、新しい名前にしてはどうか、「生野」というワードを使用しない、などの意見もあった。何か意見はあるか。
- ・子ども自身が通う学校であるため、自分たちで投票した名前だからよいと思う。
- ・前回、「生野」というキーワードについて、昔の生野のイメージを引き継いでしまうという意見もあったが、今回、決して悪いイメージではないということはこの部会のなかで共通認識としておきたい。
- ・また、キーワードが複数あったなかでの「未来」の得票数が多かった事実も尊重したい。
- ・公的な名前を決めていくため、子どもだけではなく、区・学校・教員の意向も含め、この場で意見交換したい。そのうえで、「生野未来」を軸とすることでよいのでは。
- ・表記の漢字、平仮名についてはどうか。
- ・表記も柔軟に考えたい。子どもが選んだものをそのまま採用するのではなく、大人目線でも考えたい。
- ・響きはよいと思う。低学年でも書きやすい。
- ・「生野未来学園」だけでは何の学校か、わかりにくのでは。「大阪市立生野未来学園」が成立するのか。
 - 成立する。他の学校の例で「義務教育学校」が頭につく、もしくは後ろにつくこともある。
条例では「大阪市立」は必須であるが、「義務教育学校」は必須ではない。
 - 正式名称と通称名を使い分けているところもある。
- ・通称名等はあえて先に決めるようなことはしない方がよいのでは。子どもたちが自然に考えることになると思う。
- ・「義務教育学校」は表記された方がよいかと思う。小中一貫校と混同される可能性があるかもしれない。
 - (ホワイトボードに記載して)
大阪市立生野未来学園
大阪市立義務教育学校生野未来学園
大阪市立生野未来学園義務教育学校
今出ているパターンはこのようなものかと。
- ・子どもの目線では「義務教育学校」は外されたのかなという印象を受けるが、大人目線としては、入っていた方がよいと思う。もし、入れるならば「生野未来学園」の頭につける方が、義務教育学校としての印象が強く残るのでは。
- ・義務教育学校は、小学校・中学校の区分がないので、「学園」もなくてよいのでは。
 - 「大阪市立生野未来義務教育学校」を案の1つとしてホワイトボードへ追記
- ・投票の際、学校では子どもたちから何か意見はあったか。

- 朝礼にて、「義務教育学校」になることを説明のうえアンケート実施を行った。そのうえで、やはり「義務教育学校」を含む候補の得票数が少なかったことは、子どもに「義務教育学校」というフレーズが馴染まなかったのかな、という印象を受けた。
- 個人的には、「義務」を除いた「教育学校」でおさまっていてもよかったと思う。
 - 「新生教育学園」について、初見ではどういった学校なのかイメージがつきにくいと思う。
→参考になるかわからないが、東京都品川区では、「品川区立〇〇学園」といった名称での義務教育学校が複数ある。また、神奈川県では、「横浜市立義務教育学校〇〇学園」といった名称の義務教育学校もあった。
 - 頭を「義務教育学校」にした際に後半も「学校」では少し違和感があると思う。となれば、「生野未来学園」の頭に義務教育学校をつけてよいのでは。
 - その他捨てがたい案もあるが、投票結果を踏まえ、「生野未来学園」を軸に決めていくことかどうか。
 - 軸として「生野未来学園」を案として部会として報告するとしても、表記、「義務教育学校」を入れるか、などをここで絞っていた方がよいのでは。
 - また、子どもが学校名を書く場面があると思う。その際に校名が長いとかわいそうでは。
→高校入試の願書は正式名称が基本。
 - 頻繁に描くことはそんなにないのでは。必要な時は書くしかない。
→現在はウェブ出願も導入されており、書く機会も減っている。入力する際に長いと感ずるかどうか。
 - 「生野未来学園」は他校と被ることはないか。
→現時点で「生野未来学園」については被っていることはない。
 - 「大阪市立義務教育学校生野未来学園」については、名称が長くはなるが、学校のイメージとしては伝わりやすい。
 - 新聞等でも取り上げられる際にもわかりやすいと思う。
 - 「学園」について使用することに何か影響はないか。
→「学園」については明確な根拠はないが、一貫校などでは学園が使用されているものが多い。
 - 大阪市立義務教育学校生野未来というのはどうか。少しでも短くできる部分があれば。
→長さで言えば、高校ではあるが、大阪市立で長い名称の学校もある。
 - どれが採用されても「生野未来」で通じると思う。そのうえで、義務教育学校であることもアピールしたい。
 - 今後、校名が校歌・校章にも影響してくる。部活動などでも未来というワードは英語表記などもよい。
 - 府内に義務教育学校は5つの市が設置しているが、うち4つの市は学園としている。
 - 学校の看板などを作成する際、「義務教育学校」も入るのだろう。
→学校の種別をわかりやすくするのであれば入れることも考えられる。
 - 看板などに大きく表示するとなると2段書きになると思うが、その文字のバランスも気になる。
 - 看板等、何か校名入りの製作物を発注することを考えると、文字数で発生する金銭面の安

価、それと全体のバランスのおさまりで言えば「大阪市立生野未来学園」。

- ・大阪市初の義務教育学校としてアピールし、子どもを集めるようにしていくためにも、「義務教育学校」が入っていた方がよいかと思う。
 - 他都市のなかでは、すべての小・中学校を「義務教育学校」にする方針があることから、「義務教育学校」の名称を入れていないところもある。
- ・次回の検討会議には、「生野未来学園」を軸とし、この3案はどうか。
 - 1 大阪市立義務教育学校生野未来学園
 - 2 大阪市立生野未来義務教育学校
 - 3 大阪市立生野未来学園
- 1は、「義務教育学校」を枕詞とするもの。
- 2は、「学園」を省き、「義務教育学校」を後ろとするもの
- 3は、あえて「義務教育学校」を省いたもの。
- 正式名称はあるとして、学校内で、子どもたちが書く分については「義務教育学校」の記載がなくても多くは問題にはならない。
- ・名称の長さのデメリットをどうにかできないかと意見交換した結果、1の案がよいと意見がでているので、部会案としては1の案よいのでは。
- ・各委員のみなさまの意見を伺いたい。
- ・1「大阪市立義務教育学校生野未来学園」を専門部会案とすることに賛成。
- ・校名部会案として児童生徒への投票結果を参考に、本日の意見交換の結果として、1「大阪市立義務教育学校生野未来学園」を次回の検討会議へ報告する専門部会案とする。
- ・生野の表記はどうするか。漢字のままでもよいか。前回は「いく野」の話が出たと思うが。
 - 参考になるかわからないが、児童生徒の投票結果では、平仮名の候補は得票数が少ない。
- ・確かに平仮名で「いくの」が入っている「義務教育学校いくの学園」の得票数が一番低い。
- ・「大阪みらい学園義務教育学校」については「生野」の表記がないパターンでもあり、同様に得票率は少ない。
- ・また、「いくの」「あじさい」「みらい」といった平仮名を含んだ候補についても、パーセンテージは1桁台になっている。
- ・表記は漢字でもいいのでは。
- ・表記についても、投票結果をふまえ、漢字の「生野」とする。

確認事項

- ・校名専門部会の円滑な進行を目的とし、進行役および検討会議での報告役として、これまで学校設置協議会委員でもあった大西委員を校名専門部会長とする。
- ・児童生徒へ実施した投票結果において、得票数が多かったのは「生野未来学園」で4割を超える得票率であった。
- ・児童生徒の意見でもある投票結果を参考とし、「生野未来」というキーワードを軸とし、名称の長さ、キーワード、音の響き等や校種の解りやすさ・アピールについて意見交換し、「大阪市立義務教育学校生野未来学園」を検討会議への校名専門部会の報告案とする。

6 会議資料

- ・レジュメ
- ・資料1 校名案の投票結果
- ・資料2 校名案の検討経過
- ・資料3 応募等の校名案及び理由